

2020年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1470800349	事業の開始年月日	平成12年10月19日
		指定年月日	平成13年1月1日
法人名	有限会社 あかつき		
事業所名	グループホーム あかつき		
所在地	(257-0031) 神奈川県秦野市曾屋555-1		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	9名
		ユニット数	1 ユニット
自己評価作成日	令和2年8月24日	評価結果 市町村受理日	令和2年12月16日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://www.rakuraku.or.jp/kaigonavi/
----------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ひとつ屋根の下、利用者と職員が大家族のような関係を築き、毎日ゆとりある時間の中で協力しながら生活しています。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋1-2-7 藤沢トーセイビル3階		
訪問調査日	令和2年10月13日	評価機関 評価決定日	令和2年12月3日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

事業所は、小田急線「秦野」駅からバスに乗り、「六反地」バス停下車、徒歩7分の工場団地と住宅街の中に立地する平屋建て1ユニットのグループホームです。事業所の事務所窓からは大山が窓一杯に見えています。

<優れている点>

職員は人格の尊重とプライバシーの確保について熟知し、利用者に対応しています。利用者はおのこの自分のプライドを持っています。職員は利用者の話に真摯に耳を傾け、さりげない支援を心がけるとともに、プライドを傷つけることの無いよう注意して対応しています。職員は長く勤務しており、高齢者も多く、利用者とは和気あいあいと、介護理念の、「昔懐かしい『大家族』・・・」を実践しています。職員の支援により利用者は3時過ぎに棒倒し、紙玉投げ、輪投げなど、食堂・居間での遊びを楽しんでいます。また3時のおやつでも要望を聞き、買い物・おやつ作りを含めて楽しんでいます。

<工夫点>

コロナ禍の中で、家族との面会ができなくなりましたが、職員の提案からビデオ通話による家族とのオンライン面会を行うようになってきました。また家族には事業所での笑顔の写真を含め、「あかつき便り」を年3～4回送っていましたが、家族がラインメンバーであることから、今では事業所での日常の写真をSNSのラインで送っています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1～14	1～7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15～22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23～35	9～13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36～55	14～20
V アウトカム項目	56～68	

事業所名	グループホーム あかつき
ユニット名	

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが ○ 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに ○ 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている ○ 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	今年度、理念を新たに設定しました。職員の目につきやすい場所に掲示し共有しており、実践するよう努めています。	職員と話し合い、介護理念を今年度、新たに創り「昔懐かしい『大家族』」・・・というワードを含めています。玄関、事務所、キッチン、職員休憩室に掲示し、理解を深めてもらうようにしています。さらに実践につなげる様にしています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	自治会に加入しており、夏祭りなどの行事に参加しています。また、昨年事業所でイベントを開催し、地域の方にも参加してもらいました。 ※今年度は、新型コロナウイルス流行の関係で、開催を見合わせております。	今年度は、新型コロナウイルスの影響で地域との交流・自治会との交流を控えてきています。それ以前では、自治会の夏祭りに参加していました。事業所主催の祭りにはポン菓子の屋台もて、大勢の地域の方も参加していました。今後は機会をみながら実施を検討する意向です。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議には自治会長、民生委員、地域高齢者支援センターの参加があり、話があった際には相談にのることができる体制をとっています。 ※R2年3月より、運営推進会議は新型コロナウイルス流行の関係で、開催を見合わせております。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に1度定期的に行い、意見交換などをし、意見要望を取り入れるようにしています。 ※R2年3月より、運営推進会議は新型コロナウイルス流行の関係で、開催を見合わせております。	2ヶ月ごとに、自治会会長・民生委員・市職員・地域包括支援センター職員・家族が出席し、開催していましたが、今年3月より、見合わせています。運営推進会議の基礎資料は2ヶ月に1回、市に提出しています。再開は市とも相談しながら進める意向です。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	月1回の市への入居状況の報告を行うほか、市役所の担当者が運営推進会議に参加しており、報告や相談をしています。 ※R2年3月より、運営推進会議は新型コロナウイルス流行の関係で、開催を見合わせております。	市高齢介護課とは毎月入居状況報告を行うのと、担当者が運営推進会議に参加しています。生活保護の人もおり、市生活介護課とも連携して年1～2回事業所で打ち合わせをしています。毎年の保健福祉センターフェスティバルには、利用者の作品を展示しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	社内勉強会を行い、身体拘束・虐待防止などにかかわる正しい知識を身につけ、身体拘束のないケアを行うよう努めています。 ※R2年3月より、社内勉強会は新型コロナウイルス流行の関係で、開催を見合わせております。	運営推進会議の前に、同じメンバーで身体的拘束防止委員会を開催し、身体拘束の有無の報告や意見交換をしていました。また、社内勉強会で2月に虐待防止の勉強会を行いました。3月より新型コロナウイルスの影響で委員会・勉強会の開催を見合わせています。	身体拘束をしないケアの実践の為に、委員会や研修会を行い啓発をすることになっています。さらに密とにならないような研修としてオンラインによる研修を検討しています。実施できることが期待されます。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	社内勉強会を行い、虐待防止に努めています。 ※R2.02 開催		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	ケアマネジャーが市内の介護支援専門員協会に所属し研修を受けており、社内勉強会で他職員と共有するようにしています。 ※R2年3月より、社内勉強会は新型コロナウイルス流行の関係で、開催を見合わせております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居時また改定などの際は、不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い納得してもらうようにしています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族に近状報告を行う際やケアプラン作成時などに、意見要望を伺い、ケア会議で話し合っって対応をしています。	家族とはラインで、事業所での日常の写真を送っています。家族の意見・要望は、電話、SNSで把握しています。利用者とは3時過ぎに棒倒し、紙玉投げ、輪投げなど、食堂・居間での遊びを楽しんでいます。また3時のおやつでも要望を聞き、対応しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	代表者は管理者を兼ねており、日常的に職員の意見や提案を聞いており、随時職員と話し合い運営に反映するよう努めています。	コロナ禍の中で、各利用者のケア状況・情報を担当職員がまとめた資料を、回覧しながら全職員が情報を共有し、月次のケア会議に替えました。研修では、参加したいとの要望に対応しています。ビデオ通話による家族とのオンライン面会は職員による提案でした。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員それぞれの事情を把握し、できるかぎり対応するよう努めています。また、R2年1月より処遇改善加算を算定することになり、定期的な評価シートを導入し、昇給制度を整備しました。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	市内の介護支援専門員協会や保健所、他の団体の主催する研修に職員が参加し、社内勉強会に生かせるようにしています。また、年数回、社内勉強会に社外から講師を呼び行っています。※R2年3月より、社内勉強会は新型コロナウイルス流行の関係で、開催を見合わせております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	介護支援専門員協会や介護保険事業者連絡協議会などに所属し、研修などへの参加をしています。また、市内グループホームと共同でイベントに参加し、職員が同業者と交流することでサービスの質の向上を図っています。※R2年3月より、新型コロナウイルス流行の関係で、参加を見合わせております。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居初期はなるべく一緒にいる時間をとり、本人の不安などに寄り添い、信頼を得ることができるよう努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	家族の要望や不安を傾聴し、信頼関係を築くよう努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	入居前には、必ずケアマネジャーと介護職員で本人や家族と面談し、アセスメントを行っています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	掃除・食器洗い・洗濯物たたみなど、出来ることは共に行い、共に過ごすよう努めています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	家族と連絡を取り合い、情報を共有し、共に支えていくよう努めています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	墓参りや自宅への一時帰宅などを家族と共に支援しています。また、親戚・友人などの来訪も積極的に受け入れ、関係が切れないうよう支援しています。 ※R2年3月より、面会・外出は新型コロナウイルス流行の関係で、見合わせております。	昔の知人・友人と手紙でのやり取りをしている利用者があり、職員が支援しています。墓参りは家族と共に支援しています。昔から行っていた趣味の編み物や生け花を継続している利用者もいます。コロナ禍以降、馴染みの人との面会は見合わせています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者一人ひとりの性格や、利用者同士の関係を把握し常に気を配り支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退所した後も、その後の様子などを相手方の負担にならない程度に伺い、必要があれば支援するよう努めています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の会話の中で、本人の思いや意向を把握するよう努めています。	職員は、入居前に自宅などを訪問し、本人・家族から生活歴などを確認しています。また入居後も普段の生活の中で、さらに家族からの情報で思いや意向を把握するようにしています。把握した情報はケア会議資料などで共有しています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前のアセスメント時に本人及び家族から、出来るだけ情報をいただくようになっています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	個人のケア記録を記入し、職員で共有するよう努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	ケアマネジャーがアセスメントを行い、本人・家族・職員と話し合い、ケアプランを作成しています。月1回モニタリングを行い、年1回または状況の変化に応じて、ケアプランの変更を行っています。	入居前に本人・家族とアセスメントを行い、介護計画を作成しています。毎月モニタリングを行い、短期目標6ヶ月、長期目標1年の期間で見直しを行っています。見直し時は家族の了解を得ています。状況の変化のある場合は、その時点で見直しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の様子を個人ケア記録に記入して職員間で共有し、ケアの実践に活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	月1回のケア会議などで職員間の情報共有・意見交換を行い、柔軟な支援を行うよう努めています。 ※R2年3月より、ケア会議は新型コロナウイルス流行の関係で、開催を見合わせており、書面での状況報告・相談を行っています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	主治医の往診や訪問薬局・訪問歯科などの医療関連の地域資源を積極的に取り入れ、安心して暮らせるよう支援しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	本人や家族が希望すれば、事業所の連携する病院を紹介し、適切な医療を受けられるよう支援しています。	事業所と提携している内科医の訪問診療が月2回、訪問看護が月4回あります。24時間オンコール体制が構築されており、緊急時には医師または看護師が対応しています。また歯科の訪問診療については、治療の必要な利用者及び希望者が受診しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	提携している病院が24時間体制で相談・対応をしており、常に連携を図っています。また、訪問看護ステーションとの医療連携を取り、より適切な医療が受けれるよう支援しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時に情報提供書を病院に渡し、情報交換に努めています。また退院時は、退院前にモニタリングに伺い、病院関係者からの情報提供をいただけるようにしております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居時に「重度化した場合における対応および看取りに関する指針」を元に説明し、入居後状態の悪化などがみられた場合は、必要に応じ本人・家族・主治医・職員で会議を行い、対応しています。	契約時に、「重度化した場合における対応および看取りに関する指針」について家族に説明し、同意書もらっています。18年3月に対応マニュアルを作成しています。実際に重症化した場合には医師も含めて家族と話し合い、終末期ケアを実施しています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変や事故発生時のマニュアルがあり、対応するようになっています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回の避難訓練を行っております。	日中想定避難訓練を8月に実施しています。また職員は地域の避難訓練に参加しています。電気・ガス・水道などライフラインの供給停止時に備え、ガスコンロの保管や飲料水、米、レトルト食品、缶詰などを「災害用備蓄品リスト」で管理しています。	例年どおり、年2回の避難訓練を計画していますが、今年度はコロナ禍の影響で、8月に1回目を実施しました。2回目を12月に予定しているとのことです。是非実施されることを期待します。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	一人ひとりの性格などに応じ、言葉掛けや対応をするよう心掛けています。	職員は人格の尊重とプライバシーの確保について熟知し、利用者に対応しています。利用者はおのおの自分のプライドを持っています。職員は利用者の話に真摯に耳を傾け、さりげない支援を心がけるとともに、プライドを傷つけ無いよう対応しています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	本人の思いが表せるよう傾聴し、自己決定ができるように働きかけています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	1日のスケジュールはありますが、本人の希望があれば、柔軟に対応するよう努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	一人ひとりの衣服の選択や髪型の希望に対応するよう努めています。また、2か月に1回理容師が来所し、希望者のカットを行っています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	一汁三菜を心掛け、好き嫌いや摂食状況を把握し、個々に対応できるよう努めています。	3食とも職員が献立を決めており、利用者の希望が反映されやすくなっています。職員は不足食材を近隣のスーパーマーケットで購入し、調理を行っています。敷地内のプランターで採れた野菜も献立に載ります。利用者は食器テーブル拭きなど食事準備に参加しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事・水分の摂取量の記録をつけて把握し注意しています。また、食事時以外にも午前午後の水分補給2回と別に一人ひとりの状況に応じた水分補給を行っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	食後に、一人ひとりの状況に応じた口腔ケアや声掛けを行っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	一人ひとりの状況に応じ、本人のトイレに行きたいとの希望を尊重して対応しています。	観察や排泄チェック表により、利用者一人ひとりの排泄パターンを把握し、定期的に声掛けやトイレ誘導を行っています。排泄の状況に変化がみられるときには、協力医に相談し、薬を服用する場合には事前に家族に説明しています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	排泄チェック表を記入し、主治医と相談しながら、水分補給・服薬変更等を行っています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	基本的には週3回の入浴を行っています。曜日は決まっていますが、時間はその日の気分等に応じ柔軟に対応しています。	入浴は週3日です。同性介助に対応しています。季節に合わせて柚子湯や菖蒲湯を楽しんでいます。脱衣所に電気ストーブを設置し、ヒートショック対策を行っています。入浴拒否の場合は、時間をおいたり職員を変えたりするなど工夫をして対応しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	日中は体調などに注意し、状況によっては休息できるよう支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	訪問薬局と連携し、処方薬の管理を行っていただいています。 また、新しい薬が処方された時は、服薬方法や副作用などを指導してもらい、状態変化の確認に努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	掃除・食器洗いなどの役割を行っていただいているほか、散歩やイベントなどの支援をしています。 ※R2年3月より、外出は新型コロナウイルス流行の関係で、見合わせております。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	屋外の歩行が可能であれば、体調等を配慮し散歩を行うほか、家族と旅行に出かけたり、一時帰宅することができるよう支援したりしています。 ※R2年3月より、面会・外出は新型コロナウイルス流行の関係で、見合わせております。	今年1月に初詣(白笹神社)に出かけましたが、その後のコロナ禍で外出自粛していますが、現在の中央の長廊下で歩く練習を積極的に行うとともに、ベランダでの植栽と外気浴を行っています。3時のおやつ後にラジオ体操、各種ゲームや紙工作などを行い、健康維持に努めています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	基本的にお金を所持している利用者はおらず、事業所が立替をしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	一人ひとりに応じ、家族と相談しながら電話したりできるように支援しています。また、新型コロナウイルス流行後、ビデオ通話によるオンライン面会も取り入れております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	利用者が心地よく感じるような内装や明るさになっており、写真や作品を飾ることで季節感を取り入れるよう工夫をしています。	リビングや廊下の壁面には、イベント時の写真、貼り絵、塗り絵やボンボン飾りなど利用者の作品を掲示しています。リビングは対面式キッチンのため、職員は利用者を見渡せる造りとなっています。毎日利用者と職員と一緒にリビングなどの掃除を行い、共有空間は清潔に保たれています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	落ち着いて過ごせるよう、席などを配慮しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	敷き畳を用意し、希望する利用者には使用してもらっています。ベッドや家具は自宅で使用していたものを持ってきてもらい、居心地良く過ごせるよう工夫しています。	エアコン、収納、照明、防災カーテンが備え付けです。和室を希望する利用者には敷き畳を提供しています。利用者はテレビ、家具、仏壇、家族の写真など、馴染みの物を自由に持ち込んでいます。毎日利用者は居室の清掃を職員と行い、清潔に保たれています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	トイレや浴室に表示を貼る、一人ひとりの部屋に表札をつけるなどしてわかりやすくし、出来るだけ自立した生活が送れるようにしています。		

2020年度

事業所名 グループホームあかつき

作成日： 令和2年12月7日

優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた 具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	6	3月より新型コロナウイルスの影響で社内勉強会の開催を見合わせております。代わりとなる研修方法を検討する必要があります。	オンライン研修を導入する。	お茶の水ケアサービス学院のオンライン研修を導入し、密を避けるためにスマホ又はタブレットにて各々で視聴する。また、視聴時にテストを行うことで理解を深める。	1ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月